

第 66 回日本 PTA 全国研究大会 新潟大会 報告

富士市 PTA 連絡協議会
会長 深澤 大介

特別第 1 分科会「いじめ」

1 日目の分科会会場は新発田市。新富士 7:24 の新幹線に乗って、上越新幹線に乗り換え新潟から羽越本線に乗り換え 11:18 新発田着。約 4 時間の電車の旅でした。

テーマは「いじめ」。

第 2 部のパネルディスカッションではパネラーとして、滝澤雅彦氏。31 歳でミュージシャンから中学の先生に転身。教員生活最後は校長まで務めた経歴の持ち主。

同じくパネラー全国高校 PTA 副会長、泉満氏。自身が小学校からいじめに会い、娘も中学でいじめにあった経験から PTA に参加し、PTA がいじめの傍観者にならない事に尽力してきたそうです。

滝澤氏は中学の教員になりたての頃、自分では生徒から慕われている先生と思っていたが、クラスの中で起こっていた「いじめ」に全く気付いていなかった事への反省から、校長になった時に、クラスの問題は担任が何とかするのではなく、学校全体で解決していくという体制づくりに尽力、責任はクラス担任ではなく、校長にあるという心構えで学校経営に臨んだそうです。

泉氏は自身がいじめられた時に先生が気付いてくれて自分に寄り添ってくれた事が、本当に嬉しかった。先生のお陰で自分の居場所を見つけることが出来た。という経験から娘がいじめに会っていると気付いた時に、学校に相談に行ったが、先生の対応は全く期待外れで、学校だけに任せておけない。自分が PTA 役員となって、学校と親と協力して「いじめはいけないこと」「傍観者になっている事もいけないこと」というメッセージを子どもに送ったそうです。

滝澤氏が「P の皆さん、学校に行ったら是非校長や先生にいじめ問題、PTA も一緒になって協力しますよと言ってあげて下さい。励みになります。そして協力して下さい。」という言葉が印象的でした。